

「馬場小室山遺跡フォーラム」第65回ワークショップ

【原動力！パブリック・アーケオロジ-2015】

馬場小室山遺跡のパブリック・アーケオロジ-からみえてきた現代社会との「かかわり」と未来への新たな挑戦

1. 【埼玉県指定史跡・馬場小室山遺跡】：さいたま市指定史跡の解除に当たっての活動方針

馬場小室山遺跡は市民の保存活動により 2005 年 3 月 29 日付でさいたま市史跡として指定された経緯を踏まえ、史跡の運用体制として大田堯先生を実行委員長とする「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」を結成し、市民による市史跡の活用と継承を進める活動を実行委員会形式で行ってきました。

先般唐突にもたらされた 2015 年 3 月 13 日付の埼玉県県報によるならば、新たに埼玉県指定史跡となったようです。この県指定に伴い市指定は解除になりましたので、「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」は所期の目的を達成し、今後は埼玉県が上から目線でさいたま市の保存業務を監視する体制に移行します。

市史跡時代はパブリック・アーケオロジ-を街づくりの原動力とし、馬場小室山遺跡を形成した「見沼文化」(人類活動と環境変遷)の理解から、未来への展望として 100 年後には井山紘文画伯制作のジオラマ「馬場小室山の縄文むら」に代表される自然と共生するコミュニティの姿を描きました。その一環として見沼未来遺産推進委員会にも団体参加し、見沼たんぼの保全活動が日本ユネスコ協会の未来遺産に登録されました。

馬場小室山遺跡は通説とは「ちがう」遺跡で、新たな理解へと「かわる」研究を継続し、未来への継承活動を続けてきました。市指定が解除となり新たな視野からは、現代社会のより複雑で多様な価値観と「かかわる」遺跡となることから、パブリック・アーケオロジ-としてグローバルな原動力への挑戦が始まります。

2. 【パブリック・アーケオロジ-という原動力】：「見沼文化」から「山田湾文化」へ、そして「蛇紋岩等石の文化」へ

馬場小室山遺跡の活用 10 年の実践は、3・11 を契機とする「山田湾まるごとスクール」を新たな地域研究のステージへと導く原動力となり、次には全県的な視野から秩父ジオパークと「見沼文化」との関係縄文時代の「山-河-海」交流へと展開し、「パブリック・アーケオロジ-という原動力」を荒川に適応したいと思います。

2-1. 「防災・減災考古学」の推進：3・11東日本大震災被災地に学ぶ復興の人類史

- ・「山田湾まるごとスクール」では「山田湾文化」の理解に向けて川端弘行コレクションの活用を進めます。
- ・「防災・減災考古学」では縄文時代や弥生時代の沿岸地方における地域や拠点集落での「土器型式」の連続性と落イベントに注目したモデル構築を進めます。『山田湾まるごとスクールのしおり』参照。

2-2. 「産業考古学」の構築：縄文時代の環境資源と加工産業の発達＜2015 年からの新テーマ！＞

- ・価値の多様性と経済の発展にみる集団と地域社会の構成を追及します。「縄文人は何を考え、どう生きたか？」の第3回テーマとし、荒川流域のさいたま市奈良瀬戸遺跡に学びます。モデル構築に当たっては、以下にて地域社会を超えて供給される物流が顕著に見られる製品と製作遺跡について考えます。

(1) 海岸の自然は宝箱：キーワードは「製塩土器」と同じく、大量製作！

- ・太平洋岸の外房ではご存知の通り、台風などでベンケイガイ他の貝殻が大量に打ち上げられている状況を見ることができですが、縄文時代にはその貝殻を素材とした貝輪の製作が盛んです。
- ・日本海側では富山県朝日町宮崎海岸などで蛇紋岩の大量の漂石が見られ、近隣の遺跡においては磨製石斧の製作が注目されていますので、北陸新幹線開通の記念として現地見学会も検討中です。

(2) 転石のある河原も宝箱：秩父の蛇紋岩と緑泥片岩などと大宮台地の集落との関係

- ・NPO 法人野外調査研究所の協力を得、荒川上流域を学びの場とし、縄文人の宝探しを体感します。

(3) その他の産業

- ・学史的な黒曜石など石材産業／漆器産業／塩蔵品産業／装身具産業／祭具産業……。

3. 【2015 年度の活動計画】：日程の確保をお願いします。

- (1)「見沼文化」2015 感謝祭(毎年恒例の 5/4)：「青空考古学教室」の検討と新展開の予告。
- (2)「見沼文化」2015 熱中祭(8/21-23 の予定)：復興の原動力としての「山田湾まるごとスクール」
- (3)「見沼文化」2015 収穫祭#1(10/10 予定)：飯塚邦明ジャズピアノコンサート(14:00 開演)
- (4)「見沼文化」2015 収穫祭#2(11/3 検討中)：「縄文人は何を考え、どう生きたか？」の第 3 回
- (5)コムナーレの展示企画(日程は未定／NPO 法人野外調査研究所と共催)

①県史跡・馬場小室山遺跡の埼玉県民への紹介(ジオラマと遺物展示等)

②荒川流域の「製塩土器」と縄文社会

③「山田湾まるごとスクール」と「防災・減災考古学」への取り組み

4. その他：ワイン・アーケオロジ-による情報交換会など